

<北仙道地区>

	意見	回答	担当委員会
1	<p><地区からの事前の質問等について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が年々増加している。新築したい人がいたが、土地がない。 ・人口減少、独居高齢者が増加しているため、毎年家の周りの草刈に困っている ・猪、アライ熊、ヌートリアの有害鳥獣対策に困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利活用については、空き家バンクの登録、シェアハウスの活用などを進めています。危険家屋の除去については、除去支援事業があります。危険だとみなされれば該当すると聞いています。 ・草刈りなどは全体の課題です。地域自治組織も含め、住民の中でどういものがよいか考えていく必要があります。 ・鳥獣対策については、有害鳥獣特別委員会で状況調査を実施しましたが、具体的な支援策には至っていません。アライグマやヌートリアも増え、捕獲者を増やす講習を行っています。 	総務文教 中山間地 域
2	<ol style="list-style-type: none"> ①公共交通の在り方について、種線のバスが4往復しかない。昨年9月に一便減便となり、朝一番の便がなくなった。復活させてほしい。 ②津田まで歩いて出る人もいる。生活バスもない。 ③北仙道、種、安田で話し合っ、利用者が少ないということで現在に至っていると思う。 ④タクシー、生活バス、石見交通バスがあるが、乙子などはバス停まで行くことが困難である。タクシーを使うと往復4,000円かかる。 	<p>公共交通に関して協議し市に提言していただきたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①調査した結果、7:50発の便の利用人数が一人だったとのことですので、整理されたと思われる。住民に利用しやすい時間帯や便数などが必要という条件を付けて要望していただきたいです。 ②デマンド方式もあります。様々なやり方を考えていきたいです。 ②石見交通も全体を見て全ての路線の中で、どう対応するか決めていきます。できれば協議する場を作り、市の交通対策担当も呼び、地区での意見集約を進めてほしいです。 ③具体的にどう利用していきたいかを話し合っていくことが大切です。 ④種線運行対策協議会でよく議論をする必要があります。自治会輸送など、自治会が市から車を借りて送迎するケースもあります。一番利用しやすいものを協議して市に提言してほしいです。 	総務文教 中山間地 域
3	<p>赤雁に住んでいる。熊が出る。小学校はスクールバス、中学校は自転車を通う。ひとりで通学する中学生もいる。特別な状況であるため、バスに乗せてほしい。</p>	<p>小学校のスクールバスは通学距離が4キロ以上です。中学校は自転車通学です。熊が出るのでスクールバスというのは難しいと思いますが、教育委員会との協議が必要だと思います。</p>	総務文教 中山間地 域
4	<p>イノシシの捕獲の数に制限などはあるか。</p>	<p>制限はありません。最近はかなり多いので、昨年度は捕獲のための補正予算を2回しています。</p>	経済建設
5	<p>猟友会もあるが、最近はオリに入らなくなった。くくりわなをやればよいと思う。何年か前に鉄砲で撃ってもらったという話を聞いた。要請したら今でも可能なのか。</p>	<p>要請があり、条件があれば対応可能です。</p>	経済建設

6	<p>ヌートリアなどの捕獲免許は1年と聞く。毎年受講するのは大変である。今年は新型コロナで受講をやめ自動更新とした。そういった対応ができるならば、今後してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった要望を受けています。 ・豊川もクマが出ます。見守りなどで対応していますが、地区でできることは限界があります。先ほど中山間地域振興特別委員会を設置しましたが、中山間地域の共通課題（公共交通、鳥獣被害、少子高齢化、人材不足、草刈りなど）について論点整理し、条例化したいと考えています。市内中心部と旧益田市の周辺部、美都、匹見では状況が違います。ある意味特別扱いしてもいいのではないかと思います。全てが出来るわけではありませんが、どこまで公助で対応できるのかを検討します。これまでの課題を個々の担当課で協議して、出来ないですまされていたことを、中山間地域の今後の方向性を条例化し、行政によってその後計画を策定する中で、課題に対峙できないかと考えています。 	<p>経済建設 中山間 地域振興</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・大草の過疎化は深刻である。車がないとなにもできない。しかも、高齢化で乗れなくなる。石見交通の路線をベースに考えるので、乗り換えて市街地に出ることになる。乗り換えなしで行ける体制を整備しないと。年を取ったら町（市街地）へ引っ越ししかない。 ・大草は市道の草刈りなど、高齢化に伴いできなくなってきている。放置したらどうなるのか。市が業者に依頼し実施してくれるのか。 ・赤雁も同じ。自分たちが元気なうちはできるが、市に相談しても話にならない。 	<p>公で全てできるとは思っていません。民間でやること、地域でやること、地域の状況によって違っていいと思います。公が持つ部分、公助を周辺部は市街地よりも手厚くするなど考えていきたいと思っています。</p>	<p>総務文教 中山間地 域</p>
8	<p>新型コロナのワクチン注射も広まって、そろそろ普通の生活に戻れればと思っている。いつになったら市外、県外、東京などに行けるようになるのだろうか。</p>	<p>県の方針も少しずつ改善されています。会食も4人から12人以下へ、時間も2時間以内が3時間以内になど、その都度改善されてきているので、状況を確認していただきたいと思っています。</p>	<p>福祉環境</p>